

地域づくり推進委員会って何？

そして地域づくりとは…

問合せ 事務局：各地域公民館へ

現在、「地域づくり推進委員会」は市内10地域で組織されています。その名のとおり、地域づくりを推進する団体です。「住民自身が参加し、自らの力で学習を進めていくため実生活に即した効果的な学習及び各種事業を企画、運営し、住み良い地域づくりに寄与する」ことを目的として活動しています。



▲熱心に議論する委員のみなさん
(須坂中央地域づくり推進委員会総会)

● 地域づくりとは？

自分にとっての地域とは何でしょうか。職場や学校から寝に帰るだけのものとしたら、つまらない意味がない。地域とは、自分がそこで生きていく場であり、それが実感できるものでなければ意味がないでしょう。

地域づくりとは、自分の生きている場を、生活していく場を、自分たちで責任をもって決めていくこと。いうまでもなく、自分の住む地域をより良くしていくこと。要は、いま地域はどうなのか、そして地域をどうすべきなのかを、まずみんなで考えるということ。それがひいては、生活の一助となり、より住みやすい快適な場になるのではないだろうか。

● 見つめる・発見

まずは自分の住む場・地域はどうなのか、見つめることから始めてみましょう。まずは良い面から話し合ってみましょう。良い面、悪い面を挙げて

いくと、自分の地域がどんな特性を持っているか見えてきます。また、具体的な事例を挙げていくと、自分の気づかなかった点に気づき、生活課題がわかってきます。

「こんな地域は面白くない」と、ぼやいていたら始められない。斜に構えていたら、逃げてみたら始まらない。だめだったら良くなりゃよい。ただそれだけのことです。民主主義とは、自治とは、そういうことであり、住む場所は自由だけれども、住んだ以上その地域の構成員として、そこで起こるすべてのことは自分に責任があるということ。誰が何もしてくれない」と、ボヤいていても、始まりません。誰かが何かをしてくれるのを待つのではなく、まずは自ら行動を起こすこと、不満があるなら、まずは自ら意見を言い始めること。わいわいがやがや、みんながぼやくことから、地域は動き出し、何かが変わり始める。何か良くなっていくはず。

● 考える・動く

地域の課題が発見できたら、次に、じゃあどうすりゃいいの考える。そしてとりあえずやってみよう。事業はあくまで手段ですので、間違えないように！ みんなで動くことが大切でしょう。

また、自ら動くのも良いし、他のグループ同士の活動をコーディネートするのも良いのではないのでしょうか。まずは課題解決のためにやってみることだと思います。

そして、やってみたら、反省しつつ次への課題を話し合っていきましょう。そして素晴らしい生き生きとした地域にしていきたいと思います。



▲中心街ににぎわいを取戻すため実施された「にぎわいフェスタ」